

# 3 履修プログラム

---

死生学履修プログラムについて

死生学履修プログラムについて

死生学履修プログラム科目一覧

科目一覧

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムについて

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムについて

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム科目一覧

科目一覧

# 死生学履修プログラムについて

## 1) 死生学履修プログラムとは

本プログラムは、本学の教育精神「他者のために、他者とともに」を具現化する一つの形として、本学において多数開講されている宗教や倫理に関わる科目、人間ケア関係の科目、および現代世界の諸相や地球的課題に対処する科目等を抽出・体系化し、現代社会における「宗教の公共性」、「死生観・生命倫理」、「臨床スピリチュアルケア」という3つのテーマについて体系的な学びの機会を提供することを目的としている。また同時に、大学院実践宗教学研究科死生学専攻への入学を希望する本学の学部学生のための導入教育として位置づけられる。

## 2) 開設コースについて

大学院実践宗教学研究科死生学専攻に合わせて、「第一群（宗教の公共性）」、「第二群（死生観・生命倫理）」、「第三群（臨床スピリチュアルケア）」の3つのコースを置く。

全学共通、学科科目から各コースで指定された科目を履修し、所定の単位を修得すれば、そのコースの履修証明を取得することができる。

## 3) 履修要件

在学中に、全学共通科目と学科科目を合わせて22単位修得する必要があるが、学科科目は5つの領域（宗教領域、哲学・倫理領域、心理領域、社会・社会福祉領域、スピリチュアルケア領域）に区分され、コースごとに領域で履修すべき単位数が定められている。

コース	領域						計
	全学共通※	宗教	哲学・倫理	心理	社会・社会福祉	スピリチュアルケア	
第一群 (宗教の公共性)	8	6	4	0	2	2	22
第二群 (死生学・生命倫理)	8	4	6	0	2	2	22
第三群 (臨床スピリチュアルケア)	8	2	2	2	2	6	22

※「キリスト教人間学」含む

## 4) 受講対象者・人数

2015年度以降に1年次として入学した学生が対象  
1学年10～15名程度（コースごとの定員は無し）

## 5) 受講者申込・選抜

### (1) 申込条件

- ①2年次春学期までに、「キリスト教人間学」を2科目4単位以上取得済であること
- ②2年次春学期までの全科目のGPAが2.5以上であること

### (2) 申込時期

2年次秋学期

### (3) 申込に必要な書類

- ①プログラム履修願（所定フォーム）
- ②志望理由を記したレポートの提出（A4サイズ1枚程度、書式自由）
- ③最新の成績通知書（2年次春学期までの成績・GPAが記載されたもの）

※Loyolaから出力可

#### (4) 選抜方法

- ①書類審査（レポート含む）
- ②面接（死生学専攻教員などによる面接）

#### (5) 申込から選抜までの流れ

申込期間 2020年9月15日(火)～24日(木) (予定)  
 書類提出先 実践宗教学研究科事務室 (10号館3階)  
 ※取扱時間9時～17時 ただし昼休み(11時半～12時半)及び土日祭日除く  
 面接期間 2020年9月24日(木)～25日(金) (予定)  
 ※面接時間は、書類提出時に確定  
 結果通知 2020年9月26日(土) Loyola掲示板(呼出し掲示)にて通知

#### 6) プログラム受講・履修上の注意

- ・プログラム選抜結果は、秋学期の抽選科目登録期間終了後となる。そのため、プログラムの受講を予定している学生は、プログラムに選抜されることを前提とした履修計画を行うこと。
- ・ただし、抽選科目に落選した場合や、プログラムに選抜されなかった場合における履修手続き等において特別な措置はないので、留意すること。
- ・履修登録の際の条件や、科目を受講する際の留意点等については、開講元の学科ならびに担当教員の意向に従うこととし、本プログラム受講者ということでの特別な措置はないので、留意すること。
- ・プログラムの履修要件を満たした者には、卒業時に「死生学履修プログラム履修証」を発行する。
- ・学生1名につき1コースのみの申請となるため、他のコースの条件を満たしたとしても、証明書の発行は申請時の1コースのみとなる。

#### 7) 問合せ

プログラムの詳細については、以下に問い合わせること

実践宗教学研究科事務室 (10号館3階) (内線4699)

なお、プログラム履修願フォーム、プログラムの情報などについては、Loyola「学科・専攻別掲示板」で通知するので、確認すること。

#### 8) 「死生学履修プログラム」科目一覧

※2020年度の開講状況や科目の履修条件等については、履修要覧の該当部分を参照すること

科目名	単位数	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元 所属	備考
キリスト教人間学	各2	○	○	○	—	全学共通科目	
諸宗教における自然と人間	2	○	○		—	全学共通科目	
生命倫理の世界	2		○	○	—	全学共通科目	
宗教思想の伝統と現代	2	○			—	全学共通科目	
東西宗教芸術の伝統と今日的な宗教的靈性	2	○			—	全学共通科目	
ケアの臨床哲学	2			○	—	全学共通科目	
心理学 I A	2			○	—	全学共通科目	
心理学 I B	2			○	—	全学共通科目	
心理学入門	2			○	—	全学共通科目	
社会学	2			○	—	全学共通科目	
生命倫理の諸問題と現代社会	2		○		—	全学共通科目	
インド・サービスマニエール・プログラム	4			○	—	全学共通科目	
宗教思想の構造	2	○		○	—	全学共通科目	
聖地の比較宗教学	2	○		○	—	全学共通科目	

科目名	単位数	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元 所属	備考
比較宗教史	2	○	○	○	—	全学共通科目	
宗教的共生論	2	○	○	○	—	全学共通科目	
日本の宗教と文学 1	2	○	○	○	—	全学共通科目	
日本の宗教と文学 2	2	○	○	○	—	全学共通科目	
心理学概論	2			○	—	全学共通科目	2017 年度まで開講
アートと心理学	2			○	—	全学共通科目	2018 年度まで開講
応用倫理の世界	2		○		—	全学共通科目	2018 年度まで開講
キリスト教の歴史 I	2	○		○	宗教	神学部	
キリスト教の歴史 II	2	○		○	宗教	神学部	
イエス・キリスト I	2	○			宗教	神学部	
イエス・キリスト II	2	○			宗教	神学部	
霊性の歴史	2	○	○	○	宗教	神学部	
宗教学	2	○	○	○	宗教	神学部	
宗教史	2	○	○	○	宗教	神学部	
聖書と倫理	2	○	○	○	宗教	神学部	
宗教哲学	2	○		○	宗教	哲学科	
日本美術史	2	○		○	宗教	史学科	
東洋美術史	2	○		○	宗教	史学科	
西洋美術史	2	○		○	宗教	史学科	
古典文学史 A	2	○	○		宗教	国文学科	
古典文学史 B	2	○	○		宗教	国文学科	
古典文学史 C	2	○	○		宗教	国文学科	
古典文学史 D	2	○	○		宗教	国文学科	
科学と宗教	2	○	○		宗教	哲学科	2016 年度まで開講
フランス語圏研究 B (政治と宗教)	2	○	○		宗教	フランス語学科	2018 年度まで組入れ
フランス語圏宗教研究特論	2	○	○		宗教	フランス語学科	2019 年度まで開講
ヨーロッパの宗教と社会	2	○	○		宗教	フランス語学科	2019 年度まで開講
フランス語圏宗教研究概論	2	○	○		宗教	フランス語学科	2019 年度まで開講
キリスト教倫理 I	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教倫理 II	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教と哲学 I	2	○		○	哲学・倫理	神学部	
キリスト教と哲学 II	2	○		○	哲学・倫理	神学部	
生圏の倫理	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
道徳哲学	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
悪の思想史	2	○	○		哲学・倫理	神学部	
倫理神学の諸問題	2	○	○		哲学・倫理	神学部	
カトリック社会思想	2	○	○	○	哲学・倫理	神学部	
日本思想	2	○	○		哲学・倫理	文学部	
キリスト教思想史	2	○			哲学・倫理	哲学科	
人間論 I	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	
人間論 II	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	
社会哲学 I	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	
社会哲学 II	2	○	○	○	哲学・倫理	哲学科	

科目名	単位数	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元 所属	備考
応用倫理学Ⅰ	2		○	○	哲学・倫理	哲学科	
応用倫理学Ⅱ	2		○	○	哲学・倫理	哲学科	
仏教思想	2	○		○	哲学・倫理	哲学科	
東洋思想	2	○		○	哲学・倫理	哲学科	
ヨーロッパ思想	2	○	○		哲学・倫理	外国語学部	
心理学基礎論	2			○	心理	心理学科	
認知行動療法概論	2			○	心理	心理学科	
心理学的支援法	2			○	心理	心理学科	
老年心理学	2			○	心理	心理学科	
リハビリテーション心理学(障害者・障害児心理学)	2		○	○	心理	心理学科	
コミュニティ心理学	2	○		○	心理	心理学科	
健康・医療心理学	2		○	○	心理	心理学科	
臨床心理学概論	2			○	心理	心理学科	
臨床心理学	2			○	心理	心理学科	
社会心理学Ⅰ	2	○		○	心理	心理学科	
社会心理学Ⅱ(社会・集団・家族心理学)	2	○		○	心理	心理学科	
心理学基礎論Ⅰ(思想と歴史)	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
カウンセリング概論Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
カウンセリング概論Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
老年心理学Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
老年心理学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
コミュニティ心理学Ⅰ	2	○		○	心理	心理学科	2017年度まで開講
コミュニティ心理学Ⅱ	2	○		○	心理	心理学科	2017年度まで開講
心理臨床学Ⅰ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
心理臨床学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
深層心理学Ⅰ(深層心理学史)	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
深層心理学Ⅱ	2			○	心理	心理学科	2017年度まで開講
社会心理学Ⅱ	2	○		○	心理	心理学科	2017年度まで開講
社会心理学	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
家族社会学Ⅰa		○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
家族社会学Ⅰb		○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
家族社会学Ⅱ	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
ライフコースの社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
エイジングと世代の社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
ライフスタイルの社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
宗教社会学Ⅰa	1	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
宗教社会学Ⅰb	1	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
宗教社会学Ⅱ	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
文化社会学	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	
災害の社会学	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	
ソーシャルワーク論A	2	○		○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
ソーシャルワーク論B	2	○		○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
ソーシャルワーク論Ⅲ	2	○		○	社会・社会福祉	社会福祉学科	

死生学履修プログラムについて  
 科目一覧  
 インクルーシブ教育推進プログラムについて  
 科目一覧

科目名	単位数	第一群 (宗教の 公共性)	第二群 (死生観・ 生命倫理)	第三群 (スピリチュアルケア)	領域区分	開講元 所属	備考
ソーシャルワーク論Ⅳ	2	○		○	社会・社会福祉	社会福祉学科	
家族社会学Ⅰ	2	○	○	○	社会・社会福祉	社会学科	2018年度まで開講
宗教社会学Ⅰ	2	○	○		社会・社会福祉	社会学科	2018年度まで開講
社会老年学	2		○	○	社会・社会福祉	社会福祉学科	2016年度まで開講
ソーシャルワーク論Ⅰ	2	○		○	社会・社会福祉	社会福祉学科	2019年度まで開講
ソーシャルワーク論Ⅱ	2	○		○	社会・社会福祉	社会福祉学科	2019年度まで開講
スピリチュアリティとケア実践	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	
パストラル・ケア	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	
倫理と霊性	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	
ボランティア論	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	
愛とケアの思想史	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	
身体知演習 ボディーワーク	2	○	○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
ソマティック(身心)教育入門	2	○	○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
身体知演習 ヨガ	2	○	○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
日本の身体技法の理論と実践	2	○	○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
ヨーガの理論と実践－ラージャ ヨーガからヨーガの日本的展開－	2	○		○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
自己調整のための神経生理学Ⅰ	2		○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
自己調整のための神経生理学Ⅱ	2		○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	
社会福祉原論	2	○	○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
社会福祉倫理学	2	○	○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
コミュニティソーシャルワーク論	2	○		○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
ケアマネジメント論	2		○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
医学一般	2		○	○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
相談援助の基盤と専門職	2			○	スピリチュアルケア	社会福祉学科	
看護学概論	2		○	○	スピリチュアルケア	看護学科	
生と死のケアリング・コロキウム	2		○	○	スピリチュアルケア	看護学科	
宗教体験と人間性	2	○	○	○	スピリチュアルケア	神学部	2017年度まで開講
ボランティア演習	2		○	○	スピリチュアルケア	神学部	2017年度まで開講
身体知演習 身体技法	2	○	○	○	スピリチュアルケア	保健体育研究室	2018年度まで開講
生と死/痛みのケアリング・コロキウム	2		○	○	スピリチュアルケア	看護学科	2016年度まで開講

# インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム ～オリンピック・パラリンピック東京 2020 大会を契機として～ について

## 1) インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラムとは

本学では、2016年度から、ソフィア・オリンピック・パラリンピック・プロジェクトを立ち上げ、活動を行っている。その取り組みの一つに、「オリンピック・パラリンピックを機として、共生社会を展望する教養科目群のマッピングと体系化」を掲げており、本プログラムを通して、次のとおり、体系的な学びの機会を提供する。

- (1) オリンピック・パラリンピックの東京開催を機に開設された科目を個別に受講するだけでなく、指定する科目を履修するプログラムを設置することにより、系統的にインクルーシブな社会を理解するためのプログラムとする。
- (2) 必要な単位数を修得した学生に履修証明を発行する。これが動機付けとなり、学生が積極的に受講することを期待する。
- (3) オリンピック・パラリンピック東京2020大会をゴールとするのではなく、その先の共生社会の構築に向けた人材育成を到達目標とする。

## 2) 受講対象者

2016年度以降に1年次として入学した学部生を対象とする。

## 3) プログラムの概要および修了要件

全学共通科目、学科科目から指定された科目を履修し、所定の単位を修得すれば、プログラムの履修証明を取得することができる。事前の申し込みは不要であり、選抜も行わない。

プログラムの概要および修了要件は、次のとおり。

- (1) プログラムに必要な科目・単位数は、5科目以上（10単位以上）とする。
- (2) これら科目の履修・単位修得に加えて、修了レポートを課す。
- (3) 科目・単位数の内訳は、①導入科目（選択必修）から1科目以上（2単位以上）、②応用科目（選択）から4科目以上（8単位以上）、とする。
- (4) 導入科目および応用科目は、「インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム～オリンピック・パラリンピック東京2020大会を契機として～」科目一覧を参照のこと。

## 4) 履修から修了までの手続き

- (1) 「インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム～オリンピック・パラリンピック東京2020大会を契機として～」科目一覧を確認し、導入科目および応用科目それぞれに、通常の履修登録を行う。
- (2) プログラム修了者への履修証明発行手続きは、毎年1月に、Loyola掲示板にて案内する。
- (3) 履修証明発行希望者は、Loyola掲示板の案内に従い、卒業年度に所定の申請書に必要書類（成績証明書および修了レポート）を添付して事務局に提出すること。

## 5) プログラム受講・履修上の注意

- (1) 抽選科目について、本プログラム履修希望者への優先登録などの特別な措置は行わない。
- (2) 履修登録の際の条件や、科目を受講する際の留意点等については、開講元の学科ならびに担当教員の意向に従うこととし、本プログラム履修希望者への特別な措置は行わない。
- (3) プログラム修了者への履修証明は申請に基づき発行することとし、プログラム修了要件を満たしていても申請を行わない場合は発行しない。

インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム	
受講申し込み・選抜	なし
修了に必要な科目・単位等	5科目以上（10単位以上）の単位修得および修了レポート
単位数の内訳	導入科目（選択必修）から、1科目以上（2単位以上） 応用科目（選択）から、4科目以上（8単位以上）
受講手続き	開始時は特になし プログラム修了者で履修証明発行を希望する者は、卒業年度に履修証明発行申請を行うこと。

## 6) 問い合わせ

本プログラムの詳細については、以下に問い合わせること。

文学部保健体育研究室事務室（7号館2階）（内線3381）

## 7) 「インクルーシブ社会を目指すための教育推進プログラム ～オリンピック・パラリンピック東京2020大会を契機として～」科目一覧

科目名	単位	導入科目	応用科目		開講所属
			知る・理解する	生きる	
オリンピック・パラリンピック概論	2	○			全学共通科目
共生する社会と身体・スポーツ	2	○			全学共通科目
共生社会創生論－障がい者スポーツ・芸術を通じた共生社会の実現に向けて－	2	○			全学共通科目 2018年度まで開講
共生社会創生論	2	○			全学共通科目
国際サービスラーニング論	2			○	全学共通科目
ケアの臨床哲学	2		○		全学共通科目
現代文化としてのスポーツⅠ	2			○	全学共通科目
現代文化としてのスポーツⅡ	2			○	全学共通科目
知としての身体を考える	2			○	全学共通科目
人間と運動・スポーツ	2			○	全学共通科目
パラリンピアンと考える障がい者スポーツと共生社会	2			○	全学共通科目 2018年度まで開講
パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会	2			○	全学共通科目
赤十字と国際活動	2			○	全学共通科目
ジェンダーと法	2		○		全学共通科目
言語と人間Ⅰ	2		○		全学共通科目
言語と人間Ⅱ	2		○		全学共通科目
立場の心理学1:マジョリティの特権を考える	2			○	全学共通科目
立場の心理学2:特権の自覚と行動をつなぐ	2			○	全学共通科目
マイノリティとグローバル社会	2		○		全学共通科目
スピリチュアリティとケア実践	2			○	神学部
ボランティア論	2			○	神学部
愛とケアの思想史	2		○		神学部
世界のスポーツ・身体文化論	2		○		文学部
身体・スポーツ・社会Ⅰ	2			○	文学部
身体・スポーツ・社会Ⅱ	2			○	文学部
東洋身体文化論	2			○	文学部
政治学	2		○		史学科
国際教育学Ⅰ	2		○		教育学科
国際教育学Ⅱ	2		○		教育学科
国際教育開発学Ⅰ	2		○		教育学科
国際教育開発学Ⅱ	2		○		教育学科
生涯学習とスポーツ	2			○	教育学科 2019年度まで開講
コミュニティー心理学	2		○		心理学科
リハビリテーション心理学（障害者・障害児の心理学）	2		○		心理学科
心理学的支援法	2			○	心理学科
エイジングと世代の社会学	2		○		社会学科
ライフスタイルの社会学	2			○	社会学科
ライフコースの社会学	2			○	社会学科
ジェンダーの社会学	2		○		社会学科
SOCIOLOGY OF GLOBALIZATION	2		○		社会学科



科目名	単位	導入科目	応用科目		開講所属
			知る・理解する	生きる	
開発の社会学	2		○		社会学科
社会福祉原論	2		○		社会福祉学科
ケアマネジメント論	2			○	社会福祉学科
当事者福祉論	2			○	社会福祉学科
ソーシャルワーク入門	2			○	社会福祉学科
公的扶助論	2		○		社会福祉学科
社会福祉の歴史と社会福祉思想	2		○		社会福祉学科
介護概論	2			○	社会福祉学科
介護技術	2			○	社会福祉学科
社会福祉倫理学	2		○		社会福祉学科
障害の理解と支援	2		○		社会福祉学科
生と死のケアリング・コロキウム	2		○		看護学科
社会保障法Ⅰ	2		○		法学部
社会保障法Ⅱ	2		○		法学部
特別講義（貧困とコミュニティの経済学Ⅰ）	2		○		経済学科
特別講義（貧困とコミュニティの経済学Ⅱ）	2		○		経済学科
人的資源管理論Ⅱ	2		○		経営学科
難民とアメリカ	2		○		外国語学部
市民が関わる国際協力	2			○	外国語学部
ポップカルチャー論	2		○		ポルトガル語学科
言語接触と日本語	2		○		ポルトガル語学科
日本・ラテンアメリカ比較教育論	2		○		ポルトガル語学科
グローバル社会学	2		○		総合グローバル学科
東南アジア社会とジェンダー	2		○		総合グローバル学科 2019年度まで開講
イスラームとジェンダー	2		○		総合グローバル学科
CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4		○		国際教養学部
THE ENCOUNTER OF RELIGIONS IN THE MODERN WORLD	4		○		国際教養学部
RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4		○		国際教養学部
福祉・人間工学	2		○		機能創造理工学科
福祉情報学	2		○		情報理工学科
ヒューマンコミュニケーション	2		○		情報理工学科

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

死生学履修プログラムについて  
科目一覧  
インクルーシブ教育推進プログラムについて  
科目一覧